

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	ながの けいこ 長野 恵子	所属・職名	健康福祉学部 社会福祉学科・教授
専門領域	臨床心理学、老年心理学	学位称号	教育学修士 1980 (昭55)
最終学歴	1983 (昭58) 九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻 (博士課程) 単位取得満期退学		
資格・免許等	臨床心理士 (No.01282)		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	<p><学部> 心理学入門、高齢者臨床心理学、障害の理解、心理学実験Ⅰ、社会福祉学演習Ⅱ、卒業論文</p> <p><大学院Ⅰ> 臨床心理学特論、老年心理学特論、対人援助技術特論、臨床心理基礎実習、特別研究</p>		
教育方法の 実践例	<p><教育方法の実践例></p> <p>1. 「臨床心理基礎実習」：平成19年4月～24年3月。 障害児教室の実施を通じた大学院生の臨床実践学習。年6回障害児・者及びその保護者を対象としたグループにおいて臨床動作法の実践を行なうことにより、臨床技能の向上を図る。</p> <p>2. 「障害の理解」：平成19年4月～21年3月。頸椎損傷後遺症による四肢麻痺の人に体験を話してもらい、質疑応答を通して学生の障害のある人に対する理解を深める。</p> <p>3. 「高齢者臨床心理学」：平成19年4月～24年3月。高齢者への心理的ケアのあり方を理論的に学ぶことに加え、回想法(臨床心理士)、音楽療法(音楽療法士)の実践家を招き、高齢者施設における具体例を紹介することにより実践面での理解を深める。新聞記事の利用、当事者・援助者に関するDVD視聴を通じたレポート課題とそのフィードバックにより、高齢者の心理面の理解と援助の在り方を学ぶ。</p> <p>4. 心理学入門：平成22年10月～24年3月。初めて心理学を学ぶ学生に対し、自己採点できる実験・検査を取り入れ、レポートを作成により理解を深める。2回の小テストを実施し、結果を個別にフィードバックすることにより、学習成果の確認と再学習を促した。</p>		
教材の 開発	<p><教材の開発></p> <p>高齢者支援のための教材として「神埼の思い出ブック」を作成。地域の後期高齢者へ回想法を実施するなかで得られた地域特有のエピソードと食に関する思い出を収集、整理し、今後高齢者支援に携わる学生のための教材とした (平成24年3月発行)。</p>		
教育改善 活動等	<p><教育改善活動></p> <p>1. 社会福祉学科におけるFD活動の推進 学科長として社会福祉学科内におけるFD活動を推進した。 平成20年3月に学科FD研修会「ゼミのあり方について」を企画し、初年時から4年までに至る少人数ゼミの教育目標・方法について学科の共通理解を図った。これらの3年間のFD活動を社会福祉学科FD活動報告書(平21年3月発行)としてまとめた。</p> <p>2. 全学におけるハラスメントに関する研修を企画(平成19年10月)。</p> <p>3. 全学FD委員、教務部長としてシラバスの改善に取り組み、平成21年度から新シラバを導入した。</p> <p>4. 教務部長として3つのポリシー策定のための組織作り、初年次教育の導入および全学共通教育へ向けてのカリキュラム改編、リメディアル教育の組織的実施の推進、高大連携事業の推進を行った(平成21年4月～23年3月)。</p>		
職務上の実績に関する事項			

健康福祉学部 社会福祉学科長	平成 19 年 4 月～21 年 3 月
教務部長	平成 21 年 4 月～23 年 3 月
健康福祉学部長	平成 23 年 4 月～現在まで
セクシュアルハラスメント相談員	平成 19 年 4 月～現在まで
学生相談室運営委員	平成 19 年 4 月～現在まで

研究業績等に関する事項

《平成 19 年度～平成 23 年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
<学術論文> 認知症高齢者の帰宅要求に対する介護者の思い	共著	西九州大学健康福祉学部紀要 第 38 号	平 20 年 3 月
現代青年の友人関係と対人ストレスに関する研究	共著	西九州大学健康福祉学部紀要 第 39 号	平 21 年 3 月
大学生女子の親子関係に関する一考察 — 自我同一性の視点から —	共著	西九州大学健康福祉学部紀要 第 41 号	平 23 年 3 月
小学生の健康行動、ストレス及び自己統制力とストレス反応の関連	共著	西九州大学健康福祉学部紀要 第 42 号	平 24 年 3 月
施設介護職の介護肯定感に焦点を当てた研究	共著	西九州大学健康福祉学部紀要 第 42 号	平 24 年 3 月
東日本大震災被災者支援活動の試み —ほっとひろば西九大・経過報告（第 1 報）—	共著	西九州大学健康福祉学部紀要 第 42 号	平 24 年 3 月
認知症ケアにおける教育支援の試み — 不安感情の理解を目指した研修内容の検討—	共著	日本生活支援学会誌 第 1 号	平 24 年 3 月
<学会発表>			
Relationship between the Bias in Motor Abilities and Lifestyle and Its Quasi-Longitudinal Change in Japanese Preschool-aged Children	共同	The 5th Asia-Pacific Conference on Exercise and Sports Science	平 23 年 11 月
佐賀県における東日本大震災被災者支援活動の試み —ほっとひろば西九大の活動を通して—	共同	九州臨床心理学会第 40 回大会	平 24 年 2 月

研究助成等	西九州大学健康福祉教育研究助成 平成 21 年～23 年（共同） テーマ 1. 「神埼地域における個人の生活史についての研究」 テーマ 2. 「神埼周辺地域における“認知症ケア教育プログラム”に関する研究」
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学会及び社会における活動等

<所属学会>
日本心理臨床学会 日本心理学会 日本特殊教育学会 日本教育心理学会 日本臨床動作学会 日本リハビリテーション心理学会（評議員 平成 21 年～24 年）
日本社会福祉学会 日本基督教社会福祉学会 日本ストレスマネジメント学会 九州臨床心理学会
<社会活動>
福岡県教育委員会障害児就学指導委員会委員（平成 14 年～22 年）
佐賀県社会福祉審議会委員（平成 15 年～24 年）
九州大学大学院人間環境学府 総合臨床心理センター 研究員（平成 18～24 年）
認知症介護研究・研修東京センター 客員上級研究員（平成 18～24 年）
佐賀家庭裁判所 家事調停委員（平成 21～24 年）